

九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 5 3
2008(平成20)年2月11日(月)発行



＜119年前の1889(明治22)年2月11日は、「大日本帝国憲法」発布の日＞

戦前の憲法の「大日本帝国憲法」は明治憲法ともよばれ、自由民権運動の高まりとともに明治22年の今日、「紀元節」の日に発布。プロイセン憲法を参考に伊藤博文、井上毅(こわし)らが起草し、欽定憲法(国民が制定する「民定憲法」に対し、天皇など君主が制定し国民に与えられる憲法のこと)として制定。全文7章76条。三権分立、臣民の権利、自由の保障を一応はとり入れているが、万世一系で神聖不可侵の天皇が統治権を掌握する天皇主義を原則とする。やがて1947(昭和22)年5月3日の「日本国憲法」の施行により廃止となる。

憲法についての「本」をどうぞ！事務局で販売中！

○事務局では、次のような憲法や戦争関連の本を準備しております。よろしければご購入ください。

- ①山室信一「憲法9条の水脈」
¥1,365(各新聞書評などで高い評価。今話題の本です) 2日7日付『朝日新聞』

司馬さんから届いた、ただ一通のはがきが忘れられない。93年、吉野作造賞を受けた著書「キメラ 満洲国の肖像」への賛辞を記したものだ。 「研究者として、何か運転免許をいいたいだいた気がしたものですから」 受賞作は9条を支える内外の不戦、平和思想の成り立ちを追っている。それは人類の英知の手渡しし歴史でもあった。 「押しつけなど、単純にかたづけられるようなものではないんです」 東大で学び、日本とアジアを巡る思想史研究で知られる。もとより尚武の地、熊本生まれ。幼少から焼酎に囲まれ、落語、講談、浪曲を愛すように「俠氣」を内に隠し持つ風がある。それが行間からにじむ熱気につながるせいなのか。多く

はない著書の大半が賞に輝く。 「大量の史料に突き動かされ、文章がほとぼしるまでは、書けないからかな」 今回の爆発もすごかった。執筆は昨年春の2カ月。睡眠は平均3時間で、6月には刊行。大学卒業後、一時勤めた衆議院法制局時代以来の憲法への関心の蓄積と、安倍政権下の憲法改正ムードの異様な高まりが、その引き金を引いた。 「9条を、政治的なイデオロギーから自由な立場で、考えて欲しかった」 晩年、司馬さんは日本を愛えていた。 「深い思い入れのあった憲法について、もいずれ書かれたかもしれない。その一部に連なれたかな、とも」

文 四ノ原恒憲
写真 南部 泰博

「憲法9条の思想水脈」で司馬遼太郎賞を受ける京都大教授

ひと

やまむろ しんいち
山室 信一 さん(56)

憲法9条の
思想水脈
山室信一



- ②「憲法の解説」一橋出版 ¥525 (憲法全103条をやさしく解説。イチオシのお薦めの一冊)
- ③「原爆詩一八一人集」コトワツ社 ¥2,100 (峠三吉から会員若松丈太郎さんまで、原爆詩の集大成)
- ④池田太郎「小説日本の青空」 ¥600 (映画「日本の青空」の脚本執筆者による小説安蔵。新刊)
- ⑤井上ひさし「子どもに伝える日本国憲法」講談社 ¥1,000 (挿絵いわさきちひろの好評の一冊)
- ⑥太田光「憲法九条を世界遺産に」集英社新書 ¥693 (話題の爆笑問題、ベストセラーの本)
- ⑦「甲斐ヶ嶺(かいがね)」74号 ¥500 (吉原泰助先生の対談集、私達に話しかけています)
- ⑧「甲斐ヶ嶺(かいがね)」77号 ¥500 (吉原先生の対談集。安全保障と国際貢献について)
- ⑨「吉原泰助先生・小高講演録」 ¥500 (2年前の小高での講演記録。大変分かりやすい)
- ⑩高田健「護憲は改憲に勝つ」 ¥2,200 (昨年の会の講演者の著書)
- ⑪高田健「改憲・護憲何が問題か」 ¥2,200 (同上)
- ⑫高田健「9条がこの国を守ってきた」 ¥2,000 (同上)
- ⑬「武力で平和は創れない」 ¥300 (力に力で対抗しては…)
- ⑭「私も証言する」 ¥500 (相双地区在住の被爆者20人の体験談集)

• 以上の書籍は、電話やハガキなどでご希望ください。
• 申込先：事務局山崎健一 (975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2。TEL0244-22-8631) まで。



憲法についての「講演会テープ・ビデオ」を貸出中です!

○事務局では、次のような「カセットテープ」や「ビデオ」も準備し、貸出ししています。
ご希望の方は、事務局山崎(TEL0244-22-8631)まで、お申し出ください。
○福島県九条の会主催の『憲法塾』全10回の講義テープは、ご好意で本会会員の皆様のために、特にダビングさせていただきました。(▼敬称略・演題は多少略してあります)

憲 法 塾	① 第1回「国民投票法について」・福大教授伊藤宏之
	② 第2回「日本国憲法は時代にあわなくなったのか」・元福大学長吉原泰助
	③ 第3回「自民党、日本会議の改憲案の問題点」・福大準教授中里見博
	④ 第4回「米軍再編・集団的自衛権と憲法」・県憲法会議事務局長山口文彦
	⑤ 第5回「憲法と県民の歴史」・歴史科学協議会会員呑川泰司
	⑥ 第6回「労働法制見直しと憲法」・福大学長今野順夫・県労連議長小川秀雄
	⑦ 第7回「教育基本法の改悪と憲法」前福大学長教授臼井嘉一・教センター菅野偉男
	⑧ 第8回「社会保障の見直しと憲法」福島医科大教授藤野美都子・ワカ小川昌子
	⑨ 第9回「戦後体制からの脱却と戦後民主主義」・福大教授栗原るみ
	⑩ 第10回「21世紀の世界と憲法」・福大名誉教授、県事務局長真木賢彦
⑪ 「井上ひさし講演会」昨年10月21日、福島市での講演会。ユーモア一杯です!	
⑫ 「吉原泰助先生講演会」今年2月3日、南相馬市原町区、はらまち九条の会の講演。 A4版・31ページの立派な「レジメ」とともに、お聴きください。	



○その他、憲法に関するビデオも次のように準備してありますので、お申し出ください。

- ①NHK教育テレビ「焼け跡から生まれた憲法草案」 ②福島中央テレビ「映画「日本の青空」撮影・鈴木安蔵について」 ③「2006澤地久枝講演会・福島」 ④「憲法は訴える」 ⑤「2005九条の会有明コロシム講演会」 ⑥「憲法九条、いまこそ句」 ⑦「軍隊をすてた国コスタリカ」 ⑧「2006九条の会全国集会」

☆春一番お笑い寄席☆「浪江九条の会」結成2周年記念
立川談之助師匠 ○2月24日(日)開演1時30分

○浪江町:ふれあいセンター浪江2階 ○大人500円(チケットあります)



事務局より ― 総会と吉原泰助先生講演会を終えて<事務局反省会にて>

「講演の吉原先生は直前まで政治情勢を待ってレジメを書き直されて、A4版31ページもの膨大な資料を準備され送ってこられ、大変敬服いたしました」

「吉原先生のお話は、数字で具体的に示されるので、説得力がありますね」

「あの雪の中、講演会と総会のために、福島市の会員の方が車で、もう午後1時半頃に会場に来ておられ、恐縮いたしました」

「総会や講演会は何十名で少ないとか、何人来たか、とすぐ考えてしまいますが、一人だって二人だって来ていただけたということは大変なことで、嬉しいことです」

「北朝鮮の脅威などと、すぐ政府は仮想敵国を作って、巧妙に軍備拡大などに世論を誘導し、憲法9条の改悪に突き進むのでしょうか、国民は勉強し賢くなって、だまされてはいけませんね」

「岩国市長選挙で米軍空母艦載機移転容認派の市長が当選。そして沖縄で海兵隊員の少女暴行事件が起き、岩国市民はどう思っているのでしょうか」

「改憲のための国民投票の時が必ず来ます。あの手この手で改憲に向かうのでしょうか、最低でも、何としても憲法9条だけは変えてはいけません!」

「すべて日本の政治も経済も文化も、衣食住の生活面でも、アメリカの戦略の思いのままに操作され、変えられてきています。政治家は日本を、日本国民をどう考えているのか。改憲問題もその一つに過ぎないのですが」

「一年前、「事務局だけの独走」「事務局は何をやっているか見えてこない」「ニュースは下手な編集で読む気がしない」など、厳しい批判がありました。事務局では大いに反省し、ここ一年活動してきましたが、評価はどうなのでしょう?とにかく、元気を出してやるしかないですね!」

「去年も今年も、会員で一番最初に年会費を振替で納めてくれたのは、番場さんや私(山崎)の高校時代の担任のB先生、そしてO先生。また、いい講演だよと連絡したら、相馬から雪の中、駆けつけてくれた教え子のN君。事務局を担当していて、そんなことに励まされ喜びを感じています」



事務局員連絡先 (市外局番は TEL0244) ・平田慶隆会長 TEL24-1211 ・山崎健一事務局長 TEL22-8631 ・井上由美(会計) TEL22-7511 FAX26-0892 ・石田賢二 TEL22-4037
・早坂吉彦 TEL22-0326 ・番場恵子 TEL22-0715 ・岡田光生 TEL23-1921

「憲法9条を守ろう」の大看板を立てませんか

以前から事務局内で話題になっていても、今回の総会では提案しませんでした。原町市内の目につくどこかに、「憲法9条を守ろう」の大看板を立てるのはどうでしょう。道行く人や、車中の市民にアピールしたいと考えています。

